

セ タガヤ ボ ランティア ネ ットワーク



SETAGAYA VOLUNTEER NETWORK

世田谷発！ ボランティア生活発見マガジン
<https://www.otagaisama.or.jp/>

2021.10 No.210

今月のトピック

特集●

どうする！？「在宅避難」 ～避難生活はどこでしますか？～

キラリ世田谷人！ ● 清水 孝彰さん



イラストレーション ● 宮本 展子

水彩でイラストを描いたり、デザインしたりしています。鶺鴒の木シュタイナー水彩の会というところで、子どもに絵を教えています。

●わたしの世田谷

世田谷の公共施設は、建築が素敵で大好きです。よく行くのは上北沢図書館。まるで自分の本棚のよう。美味しいカフェも併設されていて、ほっと一息できる場所です。

特集

どうする！？「在宅避難」 ～避難生活はどこでしますか？～

新型コロナウイルスは私たちの日常生活に様々な影響を与えています。そして、災害時の避難生活でも大きな影響を受けています。意識した訓練が広く行われています。今回の問題は、在宅避難と新型コロナウイルス感染症の災害ボランティア活動など、様々な角度から考えていきたいです。



いろいろな避難

①避難所避難

【避難所の受入れ能力の限界】

世田谷区には、指定避難所が92か所ありますが、受入可能な人数は住民の2割にも満たない状況です。また、避難所に備蓄している食料は、受入可能人数の一日分だけです。また、飲料用の水はありません。(備蓄されている水は乳児の粉ミルク用とアルファ米用です。)

【慣れない避難所での生活】

避難所の居住スペースは、一人あたり約一畳分しかありません。多くの見知らぬ人との共同生活で気苦労も多く、プライバシーも守られず、不便な生活を強いられます。また慣れない環境への不安や共同生活によるストレスなどにより、避難生活が長引くほど体調を崩してしまう人が増加します。また、ペットについては避難所

ごとにルールが決められており、多くの場合ペット専用スペースが設けられていて、家族同様に暮らしていたペットも飼い主と一緒に生活することはできません。

②在宅避難

避難所ではなく自宅で被災生活を送るという選択肢もあります。在宅避難には、避難所の過密化による感染症拡大を防ぐ側面がありますが、避難生活の孤立化という不安も生じます。

③縁故避難

親せきや知人など縁故先に避難することです。長期的な滞在は難しいことが多く、次の避難先を探すことも必要となってきます。

④遠隔避難

被災地を離れ、被災していない遠隔地に避難をします。仕事や学業などで遠方に長期間滞在することが難しかったり、自宅の再建が

すすめにくいといった問題があります。

⑤ 仮設住宅への入居

計画では被災後、1カ月頃から応急的な住宅が確保されることになっていきます。地方では自宅が復旧するまでの間、応急仮設住宅などに避難することが一般的です。しかし、都市部では仮設住宅の建設用地不足が課題となります。

避難所避難から「在宅避難」へ

自宅が被災した場合、避難所へ避難するというのが一般的でした。しかし、最近、都市部では「在宅避難を推奨」しています。避難所は密になることから新型コロナウイルスの感染拡大防止の面で環境は良くありません。それに比べて、普段の生活に近い環境でプライバシーを保ちながら過ごせ、密の状態を回避できる在宅避難のほうが良いと考える人が増えています。

ようです。

在宅避難とは

「在宅避難」とは、災害が発生した時に、あえて避難所などには避難をしないで、住宅の倒壊や浸水などの危険のない場所が確保されている自宅で避難生活を送ることをいいます。

自宅での生活であっても、避難所生活と同じで、電気や水道などのライフラインが止まり、不自由な生活を強いられ、本来の日常が送れないため、「避難生活」となります。

在宅避難には事前の準備が必要

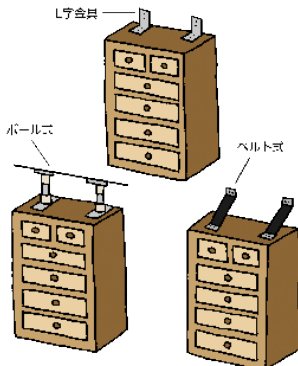
在宅避難をするためには、自宅の環境を整え、避難生活を送るために必要なものを揃えておく必要があります。事前の準備をしなければ、在宅避難が難しくなります。どんな準備が必要なので

しょう。

① 建物と室内の対策

在宅避難ができるように、建物と室内に減災対策をしておく必要があります。

例えば、建物は耐震補強したり、室内では家具の配置を考えたり、転倒防止装置を正しく設置します。地震で負傷された方の半数が家具類の転倒・落下・移動が原因となっています。



家具の固定もしっかりと！

一緒に住んでいる人の人数や性別、年齢を踏まえて、備えておくべき食料や日用品をリストアップしました。できるところから取り組みましょう！



＼ 結果をシェアする /



印刷する

結果をご家族にシェアしたり、自分用に保存したりすることでスーパーなどのお店で備蓄品を購入する際に役立てよう

水：21 L

レトルトご飯：21 食

レトルト食品：7 個

缶詰(さばの味噌煮、野菜など)：7 缶

栄養補助食品：7 箱

「東京備蓄ナビ」は簡単に自分の必要な物がすぐにわかります

② 備蓄

避難生活に必要なもの、水・食料・生活用品など、最低でも7日は用意しましょう。

何を準備するかは、ご自身の状況によって違ってきます。赤ちゃんがいたり、高齢の家族がいたり様々です。東京都防災ホームページの中にある「東京備蓄ナビ」で、家族の人数、性別や年齢などを入力すると、必要な備蓄リストが表示されます。一度試してみ

ください。

③ トイレについて

【トイレの備え】

トイレの備えは、「1日5回×7日×家族の人数」を目安に準備しましょう。最近では30日分や50日分が1セットで売っていたりします。また、平時に試しに使ってみましょう。災害時に慌てず使うことができます。

【ちよつと待って！】

発災直後、トイレの水を流すのはちよつと待ってください。排水管が壊れていると、そこから污水が漏れ出てしまいます。自分の部屋や下の階のトイレがあふれてしまうこともあります。排水管などが壊れていないか未確認のまま排水しないようにしましょう。

④ 健康管理・衛生物品の確保

災害時は水道が止まったりすることもあり、不衛生な状態になりやすいものです。そのため、感染症が広がりやすくなります。持病や障害のある方は、事前に災害時



トイレの備えは「1日5回×7日×家族の人数」を目安に準備しましょう

の対策を主治医に相談しておきましょう。感染症対策として、マスク、消毒用アルコール、石鹸、体温計などを準備しておきましょう。

⑤情報収集

災害時に必要な情報はたくさんあります。物資がいつ届くのか、ボランティアの支援はいつから受けられるのか、といった生活に関連する情報や道路がいつ開通するのか、区などの行政からの支援状況はどうなっているかなどの情報は、テレビやラジオのほか、防災



災害時の情報収集はとても大切

無線塔や区の広報車による各種情報が提供されます。世田谷区災害・防犯情報メールによる配信もあります。また、避難所などで「掲示板」が設置され、災害時に必要とされる情報の提供が行われます。

在宅避難による新たな課題

東日本大震災や熊本地震などの被災地においても、避難所で提供されている物資や支援情報が在宅避難者には届きにくいなど、在宅避難の課題が浮き彫りになっています。

①被災者の生活が見えない

昼間勤めに行かれていると、近隣の方とのつながりも希薄になりがちです。被災者が家の中に閉じこもることで、安否確認が困難になります。また周囲から隔離された自宅で、外出が困難な方が自室に留まっていると、外からも内からも生活の「見えない化」が進み

やすいと言えます。見えないことにより、サポートを受けにくい状況を生み出します。

②避難生活に「格差」が生まれる

避難所で提供される物資や支援情報も、在宅避難者が家で待っているだけでは、なかなか届きません。そのため、避難者の間で様々な格差が生まれる恐れがあります。また、避難生活の準備次第で、避難生活の質が大きく違ってきます。



在宅避難はプライバシーが守られますが、安否確認は難しくなります

在宅避難を選択した方を含めたすべての被災者を支援していく災害ボランティアの役割が重要になります。被災者のニーズには、室内の片づけ、被災家具の搬出、瓦礫の処理などが想定されます。また、医療や福祉サービス、メンタルケア、子どもの学習支援など専門性の高いニーズが上がってくることも予想されます。

せたがや災害ボランティアセンターでは、在宅避難者の多様なニーズをしつかりつかんで、その対応方法を整理し、ボランティアの支援をできるだけ行き渡らせるための取り組みを進めていきます。



「在宅避難でも『避難者カード』を出そう！」

在宅避難の場合も避難所に「避難者カード」を提出しましょう。

区の計画では、在宅避難者も「避難者カード」を把握し、物資の配給を周知することになっています。

避難者カード（世帯別）

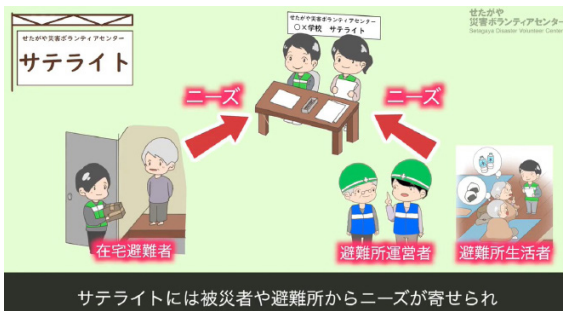
避難先：避難所 ・ 自宅		安否の問合せに 対する回答 可・否	
避難所名： インデックス (番号の最初の2文字)		☐ 経過中の家族がいる ☐ 乳児がいる	
住所：			
氏名（ふりがな）	性別	年齢	避難所内の区域 備考（学校等）
入所日 転出日	月 月	日 日	転出先（連絡先）名称 住所 電話

『災害ボランティアコーディネーター養成講座』オンラインで公開中

「災害ボランティアコーディネーター養成講座『基礎編』」がオンラインで受講できます！

YouTube内で「せたがや災害ボランティアセンター公式チャンネル」と検索して下さい。

「基礎編」以外の講座も今後アップしていきますので、ぜひチャンネル登録してくださいね！



せたがや災害ボランティアセンター

🔍 検索



せたがや災害ボランティア
コーディネーター

清水 孝彰さん
しみず たかあき

せたがや 人が キラリ

世田谷を中心に活躍する
キラリと光る素敵な方がたを
ご紹介します
取材●市川 徹

清水孝彰さんは、普段は気象予報士として仕事をしながら、せたがや災害ボランティアセンターのコーディネーターとしても活躍されています。今回はそんな清水さんにお話を伺いました。

清水さんは区外在住ですが、会社が世田谷に引っ越してきた縁で、世田谷での活動にも関わるようになった。もともとお住まいの自治体で自然環境系のボランティアをしており、地元の災害ボランティアセンター運営マニュアル作成に関わり始めた直後の2011年に東日本大震災が発生。これをきっかけに災害を身近に感じ、災害ボランティアとして

活動を始めました。その年は夏休みを利用して宮古市などで被災地支援の活動に関わり、その後も災害が発生することにボランティアとして日本各地に駆けつけています。

世田谷では2017年から、知人の紹介で災害ボランティアセンターの活動に参加されたそうです。2019年の台風19号の被災時は、コーディネーターとしてボランティアの調整などを行い、さらに彼の経験を生かして現地調査・家屋処理なども行いました。それ以外でも、水害に備えた活動マニュアルの作成やコーディネーター研修会の講師など、世田谷ボランティア協会の活動に協力し、活躍されています。

このような清水さんですが、会社勤めのため活動日は土日や休假期間に限られます。そうした中で

も活動を続ける理由として「一つは体を動かすのが好きなこと、もう一つは活動の向こうに人がいること」と言います。自然環境系の活動にはない、相手からの反応があるのがうれしいのだそうです。

コロナ禍で清水さんが災害ボランティアに感じている課題は、行動制限の厳しさとのこと。「被災地に行けないもどかしさもあり、ワクチン接種や検査などが進んだら被災地にも行きやすくなれば」と言います。また、オンラインがもっと普及すると、現地に行かなくても関わることが増えるのではと期待しているそうです。

近年毎年のように発生する災害について、清水さんは「気候変動などのニュースや避難情報の読み方に関心を持つてもらいたい」と言います。私たちも、世田谷で来るであろう水害や首都直下型地震に備え、普段から防災情報について目を通しておくことの大切さを感じました。

ご相談ください

個別のサポートを必要としている方、ご相談ください

世田谷ボランティア協会では、ボランティアの力を必要としている方と、ボランティアをおつなぎする橋渡しをしています。新型コロナウイルスの感染拡大の影響で、人と会ったり、集まったりすることが難しい状況ではありますが、困りごとを抱えていたり、どこに連絡したら問題を解決できる

のかわからないという方は、ご相談ください。

電話でお話ししながら、どんなことができそうか、どんな解決方法がありそうか、一緒に考えます。

●問合せ／世田谷ボランティアセンター
TEL 5712・5101

個別の学習支援を必要としている方、ご相談ください

世田谷ボランティア協会では、「発達障害や学習障害の傾向があったり、不登校の経験があり、学習の理解の面で苦労をしている」「勉強に向き合うことが苦手。学校の授業についていけない」などの相談を受け、小学生～高校生の個別の学習支援に取り組むボランティアをお探しして紹介しています。

現在は、新型コロナウイルス感染防止のため、オンラインでの学習支援にも対応しています。勉強への気持ちや、学習ポイントなど、本人のペースや特徴を尊重してやっていきます。お気軽にご相談ください。

●問合せ／世田谷ボランティアセンター 担当 原口
TEL 5712・5101
haraguchi@otagaisama.or.jp

ボランティア求む

京 小4女子の学習支援ボランティア募集

南島山にお住まいの小学校4年生の女の子が、在宅での学習支援をしてくれる方を探しています。

●日時／土曜日から日曜日の1時間程度で月2回以上

●場所／女の子の自宅

●条件／女性（大学生以上）、交通費応相談

学校で習った内容がなかなか定着しづらく、主に算数の学習と、学校の宿題などを一緒に取り組んでほしいと思っています。お友だちと遊ぶのが大好きな明るい女の子です。詳しくはお問合せください。

●問合せ／代田ボランティアビューロー
TEL 3419・4545
databor@otagaisama.or.jp

世 高校生の登校の付き添いをしてくださる方募集

高校1年生女子の登校の付き添いをしてくださる女性を求めています。午前7時20分ごろ、梅丘2丁目の自宅に迎えに来ていただき、世田谷線世田谷駅から電車に乗り三軒茶屋駅を降りて、池尻1丁目にある学校までの通学サポートをお願いします。

●日時／月～木曜日の可能な日で午前7時20分頃から

●場所／自宅から学校まで

●条件／子育て経験がある方や子どもが好きな女性の方、世田谷線の交通費支給

●問合せ／梅丘ボランティアビューロー
TEL 3420・2520
umebora@otagaisama.or.jp

京 上北沢の期間限定 子育てひろばで活動するボランティア仲間募集

0歳児の親子のおやすみどころ「かみきた子育て集会所」は、以下の日程で、活動に参加して下さるボランティアを募集します。内容は、9時半からの開所準備・開所中の赤ちゃんとのふれあい、14時の後片付けまでとなります。この場をはじめたからこそ、集った運営メンバー同士の繋がりや活動中のお話も面白く魅力があります。詳しくはホームページをご覧ください。

●日時／10月1日、8日、15日、22日、29日（毎週金曜日）
9時半～14時

東 木曜日の朝にごみ出しをしてくださる方募集

太子堂2丁目にお住まいの高齢の方が、足腰の具合が悪く可燃ごみを集積所まで持っていくことが難しくなっています。そのため、ごみ収集日の朝、家の玄関前に置いてあるごみを集積所まで持っていくてくださる方を探しています。詳しくはお問合せください。

●場所／岡さんのいえTOMO（世田谷区上北沢3・5・7）

●交通／上北沢駅徒歩5分

●条件／①子どもと触れ合うボランティア経験あり、あるいは子育て経験あり。または20～40代までの保育士資格をお持ちの方
②設備準備から最後の片付けまで一緒に活動してくれる方

●問合せ／かみきた子育て集会所 担当 ささこ

080・4208・0901

<https://jonhei1.wixsite.com/kamikitagkei>

有償スタッフ募集

ホームページ管理スタッフ募集

「人を貸し出す図書館」東京ヒューマンライブラリー協会では、ホームページを管理してくれるスタッフを募集しています。当協会のホームページは開設されていますが、管理スタッフがいません。毎月1回程度、新しいニュースやイベント情報を更新してくれる有償ボランティアスタッフを募集します。

講座・その他・募集

小 傾聴ボランティア講座 全5回

この傾聴ボランティア講座は、個人の方と対面で継続的に行う傾聴ボランティア活動のための講座です。話すこと、聴くことを体験学習（ワークやロールプレイなど）を通して、グループで考え、感じながら学んでいきます。あなたも、傾聴ボランティア活動への一歩を踏み出してみませんか！

●日時／各日水曜日 13時～16時
11月27日「出会い」
11月24日「ふれあう言葉／態度」
12月1日「気持ちを知る」
12月8日「価値観の違い」

●問合せ／代田ボランティアビューロー
TEL 3419・4545
data@bor@otagaishama.or.jp

講座・その他・募集

東 大人の発達障がいのある方とかわる ボランティア養成講座(全3回)

発達障がいのある方が、家にながら交流ができる「オンラインカフェ」の企画・運営にかかわるボランティアをめざす講座です。講座では、発達障がいのとらえ方を学び、考えるほか、オンライン初心者でも活動ができるように、オンラインについても丁寧にお教えします！

- 日時／①11月19日、②11月26日、③12月3日(金)13時半～16時
- 場所／①③は玉川ボランティアビューロー、②オンライン開催(ZOOMを使用)

NPO・市民活動相談 ご相談ください

世田谷ボランティア協会では、ボランティアグループ・任意団体の立ち上げや運営に関する相談のほか、NPO法人の設立も含めたNPO・市民活動に関する基礎的な個別相談にも応じています。グループの運営に悩んでいる、助成金情報を知りたい、NPOって何？ など、いろいろなご相談

- 交通／二子玉川駅徒歩5分
- 参加費／500円(資料代)
- 定員／12人(10月15日受付開始、11月6日メ-cut)
- 申込み／電話、FAX、メールでお申し込みください。件名を『発達講座申込み』とし、①氏名②住所③連絡先④年齢(年代)を明記

- 問合せ／玉川ボランティアビューロー
TEL 3707・3528
FAX 3708・3058
tamabara@otagaisana.or.jp

を受けています。すでに活動している方も、これから何か始めたい方も、個人・団体問わず相談可能です。まずは電話でお問合せください。(相談無料、事前予約制)

●問合せ／世田谷ボランティアセンター 担当 大垣内
TEL 5712・5101
(月曜・祝日休館)

小 秋の代田ビューローバザー開催&ボランティア募集

普段はたくさんの方にご来場いただいておりますが、今年は三密にならないよう予約制でゆったりお買い物いただけます。1ブロック40分、各10名、事前申込者限定です。各時間帯少しずつですが、品物を入れ替えます。貸し切り気分を選び放題、ゆったりとお買い物を楽しみください。

※事前予約制。入場前には検温、手指消毒をし、マスク着用で、密集の防止にご協力ください。

- 事前予約受付日／10月24日(土) 10時半から電話のみで受け(1回の申込につき1名)
- バザー開催日時／
10月29日(金) 10時半～15時40分(アブロック①⑦)
10月30日(土) 10時半～14時10分(エブロック①⑤)

買物時間40分間、定員10名(1、2階合わせて)です

買物時間	区分
① 10:30	11:10
② 11:15	11:55
③ 12:00	12:40
④ 12:45	13:25
⑤ 13:30	14:10
⑥ 14:15	14:55
⑦ 15:00	15:40
40分入替制	
定員各回	10名

●バザーボランティア募集

準備ボランティアとして10月19日(火)～28日(木)に値付け、チラシを広報紙に貼る作業をして下さる方、また当日、運営・片づけを手伝ってくださるボランティアを募集します。詳細はお問合せください。

※今回は10月2日、9日、16日(各日土曜日)の3日間のみ、10時半～16時に物品を受け付けます。洋服(洗濯済み、新品に近いもの)、バッグ、靴、食器、贈答品、アクセサリなどに限ります。

- 場所／代田ボランティアビューロー
- 交通／世田谷代田駅すぐ
- 問合せ／代田ボランティアビューロー
TEL 3419・4545
otabara@otagaisana.or.jp

※感染状況により中止・変更となる場合があります。

小

子育て家庭・不登校に寄り添う 訪問ワーカー養成講座

子育て家庭や不登校のお子さんを支える訪問ワーカーとして活動してくださる方を募集しています。この講座では、子ども・若者・家族をめぐるさまざまな問題（虐待・不登校、いじめ・非行など）や、子どもと関わる上で大切なことについて、講義やグループワークを交えて考えていきます。活動に関心のある方は、どうぞお気軽にご参加ください。

※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、対策を講じたうえで開催させていただきます。

東 朗読指導者養成（初級講座）

朗読指導者を目指したい方ばかりでなく、朗読力をアップさせたい方や朗読初心者の方も受講できる講座です。主に、子どもや青少年に本の魅力を知ってもらう一手段としての朗読や朗読会の企画等を勉強します。作品は絵本・児童書・小説・エッセイと幅広く取り上げます。全10回で最終日にはそれまでの成果を発表するミニ発表会もします。

●日時／10月9日、23日、11月13日、27日、12月11日、25日

●日時／10月16日（土）13時半～16時半

●場所／喜多見地区会館（世田谷区喜多見8・23・23）

●交通／喜多見駅徒歩3分

●参加費／一般1000円
学生500円

●申込み／お電話かHPから

●問合せ／NPO法人日本子どもソーシャルワーク協会
担当 波多野・阿知波

TEL 5727・2133
<http://www.jcsw.jp/>

2022年1月8日、22日、

2月12日、26日 10時から12時は新町地区会館 事前にお知らせします

●交通／三軒茶屋駅、または桜新町駅

●参加費／3000円（資料代）
トぼらりす 担当 齊藤

●問合せ／NPO法人朗読ユニツ
090・4075・4407

kgunat789@yahoo.co.jp

せたがやチャイルドライン寄付・ご支援のお願い 子どもをささえる活動をささえてください

①寄付・ご支援のお願い

せたがやチャイルドラインは、18歳までの子どものための電話です。電話を受けるのは研修をうけたボランティアです。

通常はバザーや手づくり品の販売などで活動資金の一部を調達していますが、イベントの中止などにより、活動資金を確保することが難しくなっています。子どもをささえる活動を支えるために、寄付のご協力をお願いいたします。

●郵便振替口座にお願いします。
●口座番号／
00150・8・279963

●加入者名／社会福祉法人世田谷ボランティア協会

※この口座への寄付は所得税の寄付金控除の対象にはなりません。通信欄に「寄付申込書せたがやチャイルドライン」とご記入ください。

②講義集の販売

受け手講座の内容をまとめた講義集「子どもに育ててもらったおとなたち」をメールでご注文いただけます。この講義集は受け手養成講座のテキストでもあり、せたがやチャイルドラインが大切にしている「子どもへのまなざし」がぎゅっと一冊にまとめられています。受け手講座に関心のある方や、子どもとのかかわりに悩む大人の方にもぜひ読んでいただきたい内容となっています。

●価格／1冊1000円（税込）。お支払いは後日お振込みとなります。（別途送料）

●注文方法／郵送ご希望の方は、「お名前・送付先住所・電話番号・冊数」をご記入のうえ、メールでお申し込みください。

●問合せ／せたがやチャイルドライン
TEL 5712・5101
childline@otagaisama.or.jp

世田谷ボランティア協会の活動・支援拠点

●「市民が主役」のボランティア活動の拠点●

- 世田谷ボランティアセンター 〒154-0002 下馬2-20-14 TEL (5712)5101 FAX (3410)3811
- 梅丘ボランティアビューロー 〒154-0022 梅丘1-8-9 TEL (3420)2520 FAX (3706)2854
- 代田ボランティアビューロー 〒155-0033 代田2-20-6 TEL (3419)4545 FAX (3412)3210
- 玉川ボランティアビューロー 〒158-0094 玉川2-1-15 TEL (3707)3528 FAX (3708)3058
- 砧ボランティアビューロー準備室 〒157-0066 成城6-3-10 TEL (6411)4007 FAX (6411)5888

●いのちを大切にすると「ふらっと」&「with」です●

- ケアセンター「ふらっと」 〒154-0002 下馬2-20-14 TEL (5712)5105 FAX (3410)3813
- ケアセンター「with」 〒154-0002 下馬3-22-13サザン三軒茶屋1F TEL (6805)4715 FAX (6805)4718

●くらしを紡ぎ、わかちあう「結」と「連」●

- ケア相談センター結(ゆい) 〒154-0002 下馬3-22-13サザン三軒茶屋2F TEL (5433)2830 FAX (6383)2156
- ケアステーション連(れん) 〒154-0002 下馬3-22-13サザン三軒茶屋2F TEL (6805)4716 FAX (6805)4718

●障がいにとまなう「困った！」を話せるところ●

- 地域障害者相談支援センター ぽーとせたがや 〒154-0002 下馬3-22-13丸根ビル2F TEL (6804)0405

●でんわだから、はなせるネ！ 18さいまでのこどもせんようでんわ ●

- せたがやチャイルドライン こどもせんようでんわ TEL (3412)4747 0120-99-7777(フリーダイヤル)
*事務局は世田谷ボランティアセンターにあります

拠点は今… 今月のおススメ！

◆センター&ビューローより

今年も、「傾聴ボランティア講座」を開催いたします。毎回、申し込み初日で満員になる講座で、注目の高さを感じます。11/15からの大人の発達障がいのある方とかかわるボランティア養成講座もぜひご参加ください。

◆ふらっと& withより

すっかり秋らしくなってきました。町なかを歩くとお店の飾り付けはハローウィンへと変わっています。いつの間にか日本の文化にも定着をしたハローウィン。今年も可愛いお化けに会えるでしょうか。

◆結・連より

介助を必要としている人がいます！世田谷を走り回っています。ヘルパー募集継続中です！

◆チャイルドラインより

10月に世田谷区内の子どもたちに、チャイルドラインカードを届けます。うれしいことや、悲しいこと、気になることなど、どんなことでも、子どもたちからの電話をまっています。

編集後記

■我が家も、地震で被災したと想定して備蓄をしています。特集ページでも紹介した「東京備蓄ナビ」で調べたところ、全然足りていないことが判明しました。家におけるスペースも考慮しつつ、「備えあれば憂いなし」でこれから用意していこうと思います。

■先月は、チョウのさなぎを羽化させましたが、9月は卵から飼い始め、無事にチョウになるまで育てることが出来ました。チョウをきっかけに近所の子どもたちと交流が始まりました(こ)

- 発行
社会福祉法人
世田谷ボランティア協会
〒154-0002
世田谷区下馬2-20-14
TEL 03-5712-5101
FAX 03-3410-3811
- E-MAIL
setabora@otagaisama.or.jp
- ホームページ
<https://www.otagaisama.or.jp/>
- 発行人
横山 康博

